

分類項目 営業支援	ルートセールス販売支援システム 顧客先受注システム』
導入業種	卸売業（乾物卸業）
主要機器	PDA、Sparklet(DHT-101)、光通信ボックス、サーバPC
導入環境 並びに 導入前の問題	ルートセールスにおいて顧客先の商品棚の売れ行き状況から追加商品をチェック、追加商品のメモを持ち帰り本部で受注処理を行っている。 夜に受注処理を行うとその日の商品出荷処理に間に合わず、翌日の出荷処理となる。顧客の商品棚に商品が無い状況は機会損失であり、少しでも早い補充が望まれる。また、営業の受注処理が夜に集中する為、待ち時間等が発生し効率が悪い。 ・ 追加商品を早く本部へ連絡し出荷処理をしたい。(当日出荷したい) ・ 受注処理を営業担当が行うのではなくアシスタントが出来る様にしたい。
システム概要	顧客先で追加商品の入力を Sparklet(DHT-101)HTを使用し、メモ書きを無くすことで受注処理データ入力をなくし、その場(顧客先)からPDAを介し携帯電話のデータ通信機能を使って本部サーバへ追加商品データを送る。本部では受注データ受信があり次第受注処理を行う。これにより当日出荷を可能にする。 ・ Sparklet(DHT-101)HTにて店先受注処理を行う ・ 受注データ転送をその場(顧客先)から行い、当日出荷に間に合わせる (HT→通信ボックス→PDA→携帯電話＝電話回線データ送信 本部サーバ) ・ 夜の受注処理の集中をなくし、手待ちを無くすことで効率を上げる
システム構成	顧客先 サーバ 出荷指示 MOVE 店先から受注したオーダーを本社サーバへ送信する 当日出荷指図書を発行 受注日出荷を可能にする
導入による効果	Sparklet(DHT-101)ハンディターミナル利用により作業効率が大幅に改善した ・ 店先で受注商品の入力を終えるため、サーバへの入力作業が大幅に減った ・ 受注処理が担当営業だけでなくアシスタントで出来るようになった 電話回線データ転送処理を行うことで受注から出荷までが大幅に短縮できた ・ 受注当日出荷が可能になり機会損失が改善された ・ 夜の受注処理の集中が無くなり営業業務の質が変わってきた
その他	